

【2 釈 文】老中連署奉書（延享二年：一七四五）

今度 御本丸

御移徙、為^二御祝儀^一

以^二使者^一、目錄之通

進^一上^レ之候、遂^二披露^一候処

一段之仕合候、恐々

謹言

松平能登守

九月廿七日

乗賢（花押）

本多中務大輔

忠良（花押）

酒井雅楽頭

忠知（花押）

土岐伊豫守殿

【2 読み下し文】

今度 御本丸

御移徙（わたまし）、御祝儀として

使者を以（もつ）て、目錄の通り

これを進上候、披露を遂げ候処

一段の仕合わせに候、恐々（きょうきょう）

謹言（きんげん）

松平能登守（のとのかみ）

九月廿七日

乗賢（花押）

本多中務大輔（なかつかさだゆう）

忠良（花押）

酒井雅楽頭（うたのかみ）

忠知（花押）

土岐伊豫守殿